

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	直截的物質変換をめざした分子活性化法の開発
領域代表者	茶谷 直人（大阪大学・大学院工学研究科・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	本研究領域は、不活性な化学結合を切断し、分子変換の刷新につなげることを目的とした研究領域であり、その実現は合成化学における最重要課題のひとつである。また、多段階反応を経由しない直接的合成は、グリーンケミストリーの観点からも時代の要請に沿った研究課題である。先駆的な研究実績を有する領域代表者のもと、有機金属化学、錯体化学、生物無機化学の分野から力量あるトップクラスの研究者が参画し研究組織が構成されており、高水準の研究成果が期待される。